食品産業 もったいない大賞 **審査委員会 委員長賞**

応募名称

お得意先様との連携による配送車両台数 の削減等、積極的な環境活動を実施

会社名、事業場名

加藤産業株式会社

兵庫県西宮市/ http://www.katosangyo.co.jp/csr/index.html

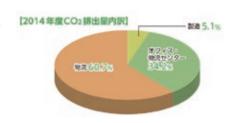
■具体的な取組内容■

当社グループでは、「エネルギー使用を減らす取組:省エネ」および「再生可能エネルギーを創る取組:創エネ」により、総合的に CO_2 排出量の削減に取り組み、低炭素社会の実現を目指しています。

1. 省エネ

当社 CO₂ 排出量の約 6 割を占める「物流」での CO₂ 排出量を削減するために、お得意先様のご協力を得、配送頻度の削減による車両台数の削減に取り組んでいます。あるお得意先様では、店舗への配送を隔日配送に変更して頂き、配送車両台数を削減しました。

【17 台 / 日×5 日 / 週 ⇒ 10 台 / 日×6 日 / 週 25 台 / 週削減】 これらの取組の結果、物流における CO₂ 排出量は、2010 年度と比較して、総量で 9.7%、売上高あたり原単位で 22.3% の削減となっています。





2. 創エネ

当社グループの事業から排出される CO_2 の削減だけでなく、総合的に CO_2 排出量を削減するために、再生可能エネルギーを創る取組も推進しています。

2014年度は、6事業所の屋根に、合計で2,150kWの発電容量の太陽光発電設備を設置しました。設置から2015年1月までで1,844千kWhを発電しています。この発電量は、一般的な家庭が1年間に使用する電気使用量に置き換えた場合、約510件分に相当します。

2015 年度は、新たに 3 事業所に、合計で 634kW の 発電容量の太陽光発電設備を設置します。



■評価■

製造部門を有する卸売事業者としての強みを活かし、原材料の有効利用から全国の事業所における設備の省エネ、物流部門における総車両台数削減等、様々な角度から積極的な環境活動を実施。顧客との連携による配送車両台数の削減等が評価された。食品流通の上流と下流をつなぐ要ともいえる卸売業の立場から、更なる温暖化対策・食品ロス削減の取組が期待される。